

令和6年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田市立浪切ホール（岸和田市港緑町1番1号）		
指定管理者名	南海・テレ岸グループ		
指定管理料	243,293,000	指定管理期間	令和4年4月1日～令和10年3月31日
公募/非公募	公募	施設所管課名	魅力創造部文化国際課
施設運営の根拠となる計画等	文化創造ビジョン・岸和田 該当ページP54～55		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	基本協定書・仕様書に基づき、施設管理を適切に実施した。
運営業務の実施状況	貸館業務については、リモート会議の定着など社会環境が変化し、以前の利用状況に戻りきらない状態となっているものの適切な管理運営を行っている。企画事業に関しては、年間44事業を実施しており、他市の同規模ホールと比較してもかなり多い事業数となっている。令和6年度の大ホール利用者数は、222,000人となっており、目標値である120,000人を大きく上回る実績があった。
施設の利用状況	利用者数推移（3ヵ年度分記入してください。）
	令和4年度 404,582人 令和5年度 452,513人 令和6年度 433,173人
	入場料収入等推移（3ヵ年度分記入してください。）
	令和4年度 79,429,458円 令和5年度 86,774,636円 令和6年度 92,349,826円
	上記推移の理由等
	施設の利用件数の減少に伴い、利用者数も前年比で20,000人程度少なくなった。しかし、令和6年7月に施設利用料を改定したことで、利用料は1千万程度増収となった。

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等	
A1	1 履行確認	
	S	基本協定・仕様書に沿った管理運営ができています。
	2 サービス水準の確認	
	A1	利用者の特性に沿ったサービスの提供ができています。
	3 事業収支の確認	
	A	エネルギー関連費や人件費の高騰を受けながらも、適切な館の運営ができています。
総合評価理由・意見等		
現指定管理者は、「地域の文化力を高める」ことを目標に事業展開を図っており、企画事業数も44事業と高位の水準を保っている。施設も20年が経過し、老朽化が見受けられる中でも利用者の「安心・安全」確保を優先し、計画的な修繕を実施するなど、施設管理を適切に行っている。		

4. 今後の方向性

業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	館内照明のLED化により、環境への配慮および電気使用量の削減に努める。また、施設維持管理マネジメントとして、日常・定期点検の情報、課題、事業活動情報等をファシリティログシステム活用することで、施設における品質分析、修繕の中長期計画に役立て、建物の価値向上及び機能向上を図る。
---	---